

携帯電話，スマートフォン，ゲーム機等のネット端末利用状況

（%；全児童数に対する割合）

【各学年におけるネットを経由した情報端末に関するトラブル発生人数】

- 昨年度と同様，6年生が最も多く，次いで5年生と上学年に多いという傾向です。各学年共に進級するにつれてトラブル発生件数が増加しており，高学年ほど多くなっています。

【トラブルの内容】

- もっとも多いトラブルは，「悪口を書かれた」です。今回の調査で特徴的なことは，「ネット依存と思われる状態になった」「個人情報や画像が（を）流失した」「ネットを通じて第三者と出会った」が，急増したことです。特に，「ネットを通じて第三者と出会った」については，昨年度は0人だったのに対して，今年度は18人となり，犯罪に巻き込まれる危険性もある非常に危惧される状況です。

【自分専用の機器 ⇒ 蓬田小学校児童のゲーム機の所持率は44.1%と県平均を上回っています】

- 「ゲーム機」（39.6%）が最も多く，ついで「タブレット端末」（10.7%）でした。今年度，「タブレット端末」が増えたのが特徴です。「スマホ」（5.5%）の普及も進んでいます。
※ 「自分専用の機器をもっていない」と答えた児童は，23.9%でした。

【頻繁に利用している機器】

- ほぼ毎日機器を利用している児童の数については，「ゲーム機」（24.0%）が最も多く，次いで「タブレット端末」（17.0%），「スマホ」（15.1%）の順になりました。タブレット端末については，学習補助機器としても今後ますます学校での活用が進むことから，学習以外の使い方にも目を向けていく必要があります。
※ 「毎日利用する機器はない」と答えた児童は，29.3%おりました。

【平日ネットに接続して使用している平均時間】

- 「30分～1時間」が20.1%と一番多く，2時間以内の合計が約5割を超えています。5時間以上も0.8%で，昨年度より増えていることについて留意すべきです。
※ 「ネットには接続していない」と答えた児童が41.8%おりました。

【休日ネットに接続して使用している平均時間】

- 「30分以内」と「30分～1時間」の割合が30.5%を占め，1～2時間（14.9%），2～3時間（8.1%），5時間以上（2.7%）と平日に比べ，明らかに使用時間が増えており，長時間使用の傾向が進んでいます。
※ 「ネットには接続していない」と答えた児童は38.0%で，平日よりネットに接続して使用する児童が増えています。

【メールやLINEを使っている頻度が高い時間帯】

- 午後3時～6時（10.5%）が最も多く，次いで午後6時～9時（6.1%）で，昨年度とほぼ同じ傾向です。しかし，午前0時以降が67人（0.1%）いることや朝起きてからが853人（1.0%）いることも留意すべきです。

【メールやLINE等を使ってやり取りしている相手の人数】

- 1人～10人（15.6%）が最も多いのですが，10人以上の児童が163人（およそ0.2%）もいます。メールやLINEによって，いじめ等のトラブルが発生したり，個人情報流失したりする事例が後を絶たない状況を見ると，使い方によっては大きな危険性があることを認識させることが大切です。

ご家庭でぜひ確認していただきたいこと

今回の調査結果から，ゲーム機をはじめ，タブレット端末，スマートフォン等のネット端末が多くの子に普及していること，ネット接続の長時間使用の傾向が進んでいることなどが分かりました。一方，各学年でのネットを経由した情報端末に関するトラブル発生人数が年々増加傾向にあり，トラブルの内容も問題が深刻化・悪質化している様子が伺えます。

以上のことから，子どもたちが安心して上手にネット端末を利用できるように，以下の内容を確認してください。



- ① ネット端末機器を購入する（購入した）目的を子どもと（再）確認する。
- ② 必ずフィルタリングをする。
※青少年インターネット環境整備法：18歳未満には必ずフィルタリングする。
- ③ 利用する際の家庭内のルールを子どもと相談して決める。決めたルールが守られているか定期的に話し合い，見直す。
- ④ 情報モラルとセキュリティ，及びフィルタリングの基礎知識をもち，子どもと確認する。
- ⑤ 子どもがどんな使い方をしているか確認する。（家の中だけでなく，外での使用も含めて）

※お子さんをネット被害から守るために，よろしくお願いします。